

DOSHISHA TOKYO JOURNAL

東京

2019 Autumn

No.117

# 同志社 ジャーナル



## INDEX

2019 年度定時総会・評議員会レポート  
2018 年度活動報告・会計報告  
2019 年度活動方針・活動計画

登録団体紹介・樹徳会東京支部

平成・令和卒業の校友クローズアップ・李良剛さん

特別講演会・小西一有さん

片桐家同志社五代記(三十)／連載コラム 今出川四季

校友訪問・ユアスペース 中尾昌弘さん

同志社スポーツ・ラグビー部

首都圏 校友の店・ホテル グランドアーク半蔵門

奨学金(給付型)制度／すみれ亭句会

## 同志社東京校友会

表紙写真 ラグビー部 夏合宿練習試合 東海大学戦  
写真提供 同志社スポーツアトム編集部 川田 翼



レポート①

東京校友会の2019年度定時総会・評議員会が去る6月27日(木)夕刻、同志社大学東京サテライト・キャンパスで開催されました。

# 報告・会計報告



児玉正之会長

2019年度定時総会・評議員会のご報告

当日は各年次会・文化スポーツ関連の登録団体を代表する幹事および評議員の皆様90名が一堂に会し、懇親会をふくみ3時間にわたる会合となりました。

まず冒頭、児玉会長のあいさつで皆様方への日頃の活動の礼と大学の現状・校友会の動向について話がありました。特に募金の進捗状況では、企業対策について詳しく説明をいただきました。続いて会長から議長指名があり、代表幹事が議事進行を担当。

最初に2018年度活動報告について各担当の常任幹事から説明がありました。まず「群れる機会」では校友

の集う機会を多くつくることをテーマに取り組み、①大成功した「春の集い」の報告②碑前祭での新しい取り組みで150名動員実績③特別協力会員の集いで校友会本部から小島副会長、中村副会長をお招きして盛況のうちを終了④ゴルフ大会では一昨年の雨天順延分含め2回のコンペを実施、などの報告がありました。

また「会員増強策」では①ビジネスパーソン向けに特別協力会員にも働きかけて特別講演会の3回実施②デジタルビジネス研究会と名刺交換会③年次会の新規立ち上げ推移④新卒者歓迎イベント⑤登録団体との連携と協力では、現役団体・年次会・諸団体へそれぞれ祝い金を提供しました。

「大学への積極的協力」としては①募金活動の推進②大学行事への積極的な参加③関東出身学生奨学金制度の実施④大学諸団体への支援など、多岐にわたりに行いました。

また、新しい試みとして他大学交流活動も展開。特に立教大学経済人クラブ様とは、双方の行事への告知と参加により、理解を深め活動幅が広がりました。

また広報担当からは、情報発信による会員相互の交流と若い世代の校友に対し、有効な情報発信策を模索しながら活動しているとの報告がありました。

続いて事務局長から2018年度の会計報告。

①今年度収支△150万円だが要因は年末、大学に150万円

を募金したことによる。②基礎収入は計画に対してほぼ達成。③事業収支はイベントの成功などによりほぼトントンになりました。

最後に6月16日(日)に開催された「初夏の集い」について、港実行委員長から結果報告とお礼の言葉がありました。



超満員の東京サテライト・キャンパス・セミナー室

# 2019年度定時総会・評議員会



活動報告をする横山徹代表幹事(左)

# 2018年度活動

なお2018年度の会員の推移は次のとおりです。

## 2018年度会員数実績

- ・通常会員 1477名 (前年比+10名)
- ・特別協力会員 149名 (前年比+16名)
- ・会員合計 1626名 (前年比+26名)

引き続き審議事項では、第1

号議案として今年度の活動計画について、第2号議案として会計画面について詳細の発表、また今年度奨学金支給学生の承認、評議員・幹事・常任幹事の追認・退任についての報告がありました。その後の質疑応答を経て出席者の皆様から承認をいただき本会議の審議は無事終了いたしました。

そのあと関東三五会の泉幹事からAII DOSHISHA募金への、同会の取り組み状況の報告と成果(350万円を大学に募金)についてお話をいただき、そのユニークな推進方法について貴重なご提案をいただきました。会議終了後、近くの会場に移動し、恒例の懇親会を開催。校友を代表する皆様方から時間の

都合上会議中には話せなかった事項について熱心に議論いただき、わずか3時間でしたが実に有意義な一日となりました。なお次回第3回幹事会・第2回評議員会は11月28日(木)18時から東京キャンパスで開催予定です。ぜひ多くの皆様の参加をお願いいたします。

文責/横山徹(71年・工)

## 2018年度 会計報告

1. 2018年度同志社東京校友会奨学金募金勘定					
科目	年度予算	累計実績	差異	達成率	備考
【基礎収入】	7,960,000	7,918,883	-41,117	達成率99%	
年会費収入(通常会員)	4,500,000	4,161,000	-339,000	予算1500⇒実績1419口	
年会費収入(特別協力会員)	2,800,000	3,100,000	300,000	予算140⇒実績155口	
校友会助成金(収入・支出)	650,000	650,000	0	経費¥40、地域交流¥15、会員拡大¥10万	
受取利息	1,000	883	-117		
その他の収入(雑収入)	9,000	7,000	-2,000	準会員参加費(特請)	
【事業収入】	6,070,000	5,493,716	-576,284	達成率91%	
参加費収入(春の集い)	5,420,000	4,301,000	-1,119,000	前期入金¥1259千	
参加費収入(特別協力会員集い)	650,000	460,000	-190,000	予算70⇒実績50名	
参加費収入(碑前祭午餐会)	300,000	339,000	39,000	予算85⇒実績94名	
参加費収入(その他の集い)	300,000	1,025,832	725,832	ゴルフx2¥52万、特請x3¥50万	
奨学金募金(収入・支出)	-790,000	-742,306	47,694		
物品等販売(収入・支出):クッキー	190,000	110,190	-79,810	(1)生協¥9万:4/1入金	
【広告収入】	5,070,000	6,172,000	1,102,000	達成率122%	
広告料収入(東京ジャーナル)	1,300,000	1,300,000	0	明光電子・ダイキンx4、公益社x2、がんこx3回	
広告料収入(ホームページ)	70,000	60,000	-10,000	計7社=1社:4月入金(請求遅)	
広告料収入(春の集いガイドブック)	3,700,000	4,812,000	1,112,000		
<収入の部>	19,100,000	19,584,599	484,599	達成率103%	
【事務経費】	3,690,000	3,333,418	356,582	消化率90%	
労務費(感謝金)	720,000	666,000	54,000	校友会東京オフィス開室167日	
業務委託費	410,000	305,300	104,700	会計事務所支払月変更による残¥97千	
会議費	700,000	612,163	87,837	幹事会経費・予備費・補助金等に残	
交際費(支部総会祝金)	150,000	80,000	70,000	7県支部+同窓会:予備等が残	
通信費	420,000	349,702	70,298	¥8万:校友会助成金に振替	
交通費	600,000	727,719	-127,719	会議体:活動の増加等により予算超過	
事務用品費	300,000	290,669	9,331	OKI複合機用トナー代¥21万、他	
家賃・付帯諸費	70,000	54,680	15,320	9月に移転:月¥5400⇒3780	
振込・手数料	320,000	239,085	80,915	郵便振替、銀行振込、CRカード・口座引落	
その他の支出(雑費)	0	8,100	-8,100	特請¥5500 誤返金	
【事業費用】	10,640,000	12,353,888	-1,713,888	消化率116%	
催事費(春の集い)	9,120,000	10,208,676	-1,088,676	2019分¥46万含。2018収支+54万円	
催事費(特別協力会員集い)	620,000	467,194	152,806	収支-7千円(講師代)	
催事費(碑前祭午餐会)	300,000	333,083	-33,083	収支+6千円	
催事費(碑前祭文化事業)	300,000	324,142	-24,142	看板サイン製作¥32千で予算超過	
催事費(その他の集い)	300,000	1,020,793	-720,793	収支+5千円(稲門会セミナー準会員参加費)	
【広報費用】	2,180,000	2,017,766	162,234	消化率93%	
東京ジャーナル発行・配布費	1,800,000	1,697,294	102,706	4月精算¥35千	
ホームページ維持・管理費	380,000	320,472	59,528	サーバー・HP改定費減等	
【政策経費】	2,070,000	1,262,833	807,167	消化率61%	
特別協力会員維持開拓費	460,000	67,092	392,908	ビジネスパーソンの特請と予算重複	
年次会等諸団体会員開拓費	600,000	466,911	133,089	H16/17年未発定¥10万他	
同志社大学現役諸団体交流費	350,000	280,000	70,000	関東S/U¥27、マンドリン¥1万	
現役世代会員開拓費	300,000	166,000	134,000	デジタルビジネス研10回¥11+稲門会他¥5万	
春の集い新人参加費	240,000	176,000	64,000	予算30⇒実績22名分	
地域交流活性化費	120,000	106,830	13,170	錦3丁目町会4+立教6万	
【人材派遣費】	1,620,000	1,642,603	-22,603	消化率101%	
【予備費】	200,000	38,575	161,425	大規模会費費広告¥2万+募金会議¥2万	
【特別支出】120周年記念事業費	200,000	1,500,000	-1,300,000	大学2025募金150万円	
<支出の部>	20,600,000	22,149,083	-1,549,083	消化率108%	
<収支の部>	-1,500,000	-2,564,484	1,064,484	収支赤字超過率17.1%	
予算	1,000,000	1,000,000	1,000,000	下記参照	

2. 2018年度同志社東京校友会奨学金募金勘定					
科目	2016年度	2017年度	2018年度	備考	
前期繰越金					
校友による募金①	332,475	105,000	150,790	年次会、個人、その他	
校友による募金②	387,747	254,506	306,904	春の集い	
クッキー販売による募金	185,328	188,340	99,180		
その他販売による募金		14,800	11,010		
東京校友会120周年記念事業	600,000	2,400,000	0		
合計	1,505,550	4,234,834	3,729,376		
<支出の部>					
同志社東京校友会奨学金		900,000	1,200,000		
熊本地震同志社ゆかりの地基金	233,362	173,342	0		
合計	233,362	1,073,342	1,200,000		
<収支の部>					
次期繰越金	1,272,188	3,161,492	2,529,376		

3. 財産目録(2019年3月31日現在)					
科目	(2015/12/31)	(2016/12/31)	(2018/3/31)	(2019/3/31)	(対'18年増減)
現金	11,964	103,320	147,809	37,309	-110,500
普通預金:みずほ銀行(渋谷中央)	1,253,099	1,059,182	775,928	94,372	-681,556
普通預金:みずほ銀行(銀座)	2,766,177	3,211,557	5,051,248	4,010,449	-1,040,799
定期預金:みずほ銀行(渋谷中央)	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	0
郵便貯金	2,238,894	2,239,142	2,239,162	2,239,182	20
郵便振替残高	8,318,327	9,449,705	5,986,455	6,407,809	421,354
普通預金:みずほ銀行(京橋)	0	1,272,188	2,650,935	1,497,932	-1,153,003
資産合計	24,588,461	27,335,094	26,851,537	24,287,053	-2,564,484
(負債)	なし				



レポート②

【東京校友会の総合課題】

若い世代の会員増強を図り、次世代につなぐ！

# 方針・活動計画



阪口章夫事務局長

2019年度活動計画

群れる機会の提供で会員増強

(5大イベントの推進)

- ◆ 第21回 同志社東京 初夏の集い 2019
- ◆ 2019年6月16日(日) ホテルニューオータニ
- ◆ テーマ『心新たに！ WHO ARE WE LALALAI!』
- ◆ 特別講演として講道館館長 上村春樹氏
- ◆ 皆様のおかげをもちまして記録の大盛会で終了しました。皆様、ご協力ありがとうございました。
- 【開催結果】
- ◆ 参加者数 649名
- ◆ 広告収入 530万円 新記録
- ◆ 会場内募金 39万4千円 (クッキー 300個・水谷氏 CD販売含む) 新記録
- ◆ 当日入会 81名
- ◆ 2020年2月12日(水) 誕生の地碑前祭の開催
- ◆ 2020年2月12日(水) 文化事業開催Ⅱ好評につき引き続き実施検討
- ◆ 午餐会開催予定
- ◆ 大磯「終焉の地」碑前祭協力
- ◆ 特別協力会員の集い
- ◆ 日時・11月19日(火)
- ◆ 場所・学士会館

- ◆ 楽しんで頂ける集いに(ミニコンサート・会員近況ほか)
- ◆ 第5回ゴルフ大会開催
- ◆ 日時・2019年10月16日(水)
- ◆ 場所・太平洋クラブ市原コース
- ◆ 参加人員・20組80名まで (チーム戦・個人戦)
- ◆ 現役世代・ビジネスパーソンの会員化
- ◆ 講演会・懇親会(年6回程度、洛紫会の名称で実施)
- ◆ 自習集団の形成
- ◆ デジタルビジネス研究会 ver. 4
- ◆ 今年度30名を募集中
- ◆ 「Young All Doshisha」の推進
- ◆ 業界別10のグループ、彼らの希望する勉強会・講演会を実施
- ◆ 継続的な取り組みで入会促進
- ◆ 登録団体拡充と連携
- ◆ 2020年3月、登録団体選出の評議員・幹事の改選に向けた活動をお願いいたします。
- ◆ 特別協力会員の会員増対策
- ◆ 年1回の「特別協力会員の集い」は親睦と交流を旨とする
- ◆ 今年はミニコンサートを計画
- ◆ 特別講演会は年数回案内予定
- ◆ 各種イベントへの招待

- ◆ 会員にはエンブレム発行中
- ◆ 年次会の拡充で会員増を
- ◆ 各イベント・ホームページ・フェイスブックなどで年次会へ参加呼びかけ
- ◆ 「春の集い」実行委員会体制強化と会員増強
- ◆ 新卒者(卒業1〜5年) 歓迎イベントの実施
- ◆ 学校への積極的協力と支援活動
- ◆ 1 大学運営への協力(150周年に向け)「ALL DOSHISHA 2025」募金活動の推進
- ◆ 法人向け推進 200社へのアプローチ
- ◆ 会員向け、クラーク缶(募金缶の愛称)の配布
- ◆ 関東三五会「スリーワンキャンペーン」の提唱と普及
- ◆ 2 関東圏出身学生奨学金制度の継続
- ◆ 名称・東京校友会奨学金制度(2017年9月から支給)
- ◆ 対象・関東甲信出身学生の2回生・3回生4名・年30万
- ◆ 選考・「奨学金制度推進委員会」を設置
- ◆ 募金方法・春の集い、年次会総会など諸行事の開催時、①募金箱での対応、②同志社クッキーの販売差益金の確保
- ◆ ③ 大学現役諸団体への支援

- ◆ 例年通り、文化団体・スポーツ団体の関東地区実施の行事(試合等)で、諸団体から要請があれば、積極的に支援・協力
- ◆ 他大学との交流計画
- ◆ 立教大学経済人クラブとの交流を通じ、運営企画に生かし、活動幅を広げる
- ◆ 昨年よりセミナーへ参加、スポーツ・文化イベントへ応援等を実施
- ◆ 広報活動計画
- ◆ 今年度重要テーマは『ホームページの管理システムと運用体制の見直し』
- ◆ ① 東京ジャーナル
- ◆ 若い世代の編集委員の募集・獲得と活性化
- ◆ 新連載「登録団体紹介」開始
- ◆ ② ホームページ(HP)、フェイスブック(FB)
- ◆ HPはコンテンツ管理システムの変更と運用体制の見直し



関東三五会からの募金贈呈



## 2019年度定時総会・評議員会

# 2019年度活動

で、記事掲載を迅速化

### ③ 広告活動

◆新規広告主獲得目標…東京ジャーナル2社&HP2社

### 事務局活動計画

昨年に引き続き、事務局機能の強化と円満運営を継続

① 渉外活動の展開…事務局間の連携強化

◆同志社校友会本部との連携業務・校友会本部主催行事への参加

◆校友会東京オフィスの運営・連携（ルール遵守）

◆支援金・助成金等申請で連携

◆関東・甲信ブロック各支部との連携業務・ブロック支部長会議の主催・連携強化

② 到達通信の処理、関係者との日常連絡／諸問題の対応

③ 諸会議の事務局業務・決議の執行補佐

④ 名簿維持管理…更なる会員増加への対応

◆個人情報等の情報流出・漏洩防止対策の継続

◆新会員管理システムの導入

⑤ 金銭出納および経理業務全般…ルールの徹底

⑥ 備品・各種書類の保管管理充実

文責／横山徹（71年・工）

### 討議のあとは、和みの懇親会へ

## 首都圏の校友の絆、

## 業界、年代を超えて

ご存じのように、定時総会は、東京校友会を構成している各種登録団体の代表（幹事、評議員）による、最終的な意志決定のための会議となります。

各種登録団体というのは、本誌前号から連載が始まった「登録団体活動レポート」でもご紹介しているように、たとえば「東京新島研究会」といった同じ目的の研究活動で集う方々、あるいは「関東三五会」「東京47会」のような卒業年次会、また「同志社ファクション倶楽部」「同志社東京メディアクローバー会」「料飲同志社会」のような業界団体や「東京歩こう会」のような趣味



料飲同志社会

の会まで多種多様。そして、それぞれの団体の所属人数によって幹事や評議員の数が規定されています。

今回の総会も、そうした各種団体の代表が集って討議がなさ



同志社東京歩こう会

れたわけですが、二時間にわたる熱い会議の後は、和みのひととき。場所を近くの「世界食堂 トランジット・テーブル・ドール」に移して、飲食を共にしながらの会話や愉快的なスピーチの中、首都圏校友の絆をいっそう深める一時間半となりました。

文責／谷村和典（72年・文）



懇親会の締めは、肩を組んでのカレッジソング



連載 ③

登録団体活動レポート  
**樹徳会東京支部**

渡邊康嗣(76年・商)

**2012年に再スタート**

同志社大学商学部卒業生で構成される商学部・樹徳会の東京支部は、商学部の卒業生で、東京周辺に住居、勤務、また遠くは静岡県、長野県在住の方々も、相互の親交を深めることを目的として毎年総会・懇親会を秋に開催しています。



東京支部総会・懇親会閉会時のカレッジソング、チアー(2013年)

講演会では、亀田尚己名誉教授より、令和時代における世界の見方「知己知彼百戦不殆の教え」の演題に基づき、世界に誇る我が国の特徴(知己)、民族・文化・言語・宗教と国家の交錯する複雑な関係を概観する(知彼)というテーマの話がありました。令和時代を迎えた日本人はこのような世界をどのように見るべきか、また海外諸国、外国人たちとどのように付き合っていくべきかなどについて

講演会では、亀田尚己名誉教授より、令和時代における世界の見方「知己知彼百戦不殆の教え」の演題に基づき、世界に誇る我が国の特徴(知己)、民族・文化・言語・宗教と国家の交錯する複雑な関係を概観する(知彼)というテーマの話がありました。令和時代を迎えた日本人はこのような世界をどのように見るべきか、また海外諸国、外国人たちとどのように付き合っていくべきかなどについて



2013年(平成25年)東京支部総会 樹徳会東京支部再スタート時の恩人・来賓  
在りし日の樹徳会本部坂・前理事長(右から2人目)、南・現理事長(左端)  
東京支部白石支部長(左から3人目)、講演講師の浜教授(右から3人目)

樹徳会東京支部は暫くブランクがありました。2012年に再スタートし、年々参加者数が増え、例年総会には約100名の方々に参加しています。本年は9月14日(土)に学生会館で、総会・講演会・懇親会を開催、大学から吉川教授(学部長代理)、加藤名誉教授、亀田名誉教授、百合野教授をお招きしました。

樹徳会東京支部では、このように年一回、ゼミ単位の着席テーブルを用意し、同じゼミの先輩、同輩、後輩が一堂に会して杯を酌み交わしながら学生時代の思い出話に花を咲かせる事を企画し開催しています。

また、現役の卒業生には卒業生同士による名刺交換会を通じて、同業または業界の方々とのビジネスに直結する話ができる

団体概要	
【団体名】	商学部樹徳会東京支部
【設立年月日】	1959年(昭和34年)9月
【代表者】	支部長 白石 正 (三菱UFJリソース㈱取締役会長)
【会員数】	登録メンバー総数 1,050名
【連絡先】	東京支部幹事・藤井 英哉 E-mail: fujii-hideya0328@nifty.com

場も設けております。例年参加者から年一回のこのような催しを通じて同志社大学出身者の仲間との絆が深まる機会と、好評を得ております。来年のゲストスピーカーは未定ですが、オリンピックイヤーにふさわしい卒業生、教授に登場していただく予定です。今まで参加したことのない方は、老若男女問わず、また、お一人でも大歓迎ですので、来年はぜひご参加ください。

**IC・電子部品の調達から技術まで一括サポート致します!**

明光電子一社で全ての部品がそろい、技術サポート、製造、検査までのプロセスを「早く」「広く」「深く」をキーワードに実践できる、電子の統合サービスが明光電子の強みです。

**早く**  
EARLY

**広く**  
BROAD

**深く**  
DEEP

早いレスポンス — 「情報」と「モノ」を素早く正確に提供  
 広いネットワーク — 業界に広く通じているから何でも揃う  
 深いサポート — 確かな信頼があるからこそできる協力体制

**明光電子 株式会社**

神奈川県横浜市港北区新横浜 3-18-9 新横浜ICビル  
 FAX: 045-471-2377  
 E-mail: info@meicodenshi.com

**045-471-2223**

明光電子 | 検索

代表取締役 **十川 正明**  
 (昭和48年 機械工学科卒業 合気道部)

つなげる絆、広げる絆

「平成」「令和」卒業の校友クローズアップ

同志社を輝かせ突き抜きたい！

YOUNG ALL DOSHISHA 発起人 李 良剛さん(2008年文学部哲学科卒)

校友の輪を広げ、同志社の名をあげていきたいと、奮闘中の卒業生 李良剛(イ・ヤンガン)さんをご紹介します。

Q 20〜30代の卒業生グループ「Young All Doshisha」とはどのようなグループですか？

李 同世代の卒業生に会いたい、と11月29日の創立記念日の前後に開催のEVEパーティを機に集まった者と各々の知り合いでグループを作り「Young All Doshisha」と命名しました。初夏の集いで会った方なども加わっていただき現在は20代〜40

代前半の卒業生206名とつながっています。同業種ごとにより密接な関係を作ればと12の業種別のグループを構成しました。普段は懇親会中心の活動ですが、今後は勉強会なども企画する予定です。中でも、官僚グループは省庁をこえて定期的な情報交換をしています。

Q 校友のこのような活動に「究極の目標」をお持ちとか？

李 まず皆が集まれる場を作り交流を持つことですが、卒業生同士の連携で同志社校友の輝きを僕たち自身で実現したい。関西出身者の多い同志社ですが三田会や稲門会以上の存在になれるのではないのでしょうか。これは僕個人の目標でもあります。世界を

Q 今後はどのような活動を？

李 これからは東京校友会と連携することで活動の意義が高まると思います。同志社大学VISION2025の理念にもあるように生涯に通じる校友のつながりを作るには、僕自身もそうなのですが、皆もつと刺激や学びにつながる出合いを求めています。首都圏で活躍される卒業生との交流の機会を多く持ち、さらに充実させたいですね。



2018年度 MVP 達成。現在主力商品部門 4,000 人中 1 位を継続中。表彰式の日の親孝行写真です！

西出身者の多い同志社ですが三田会や稲門会以上の存在になれるのではないのでしょうか。これは僕個人の目標でもあります。世界を



2018年のEVE PARTYに120名が集合

【特別講演会】レポート

小西一有さん(88年・工卒)

去る8月8日(木)、特別講演会が開催され、32名の校友が参加されました。

小西さんの講演は、昨年7月に続いて2回目で、今回は「デジタル・トランスフォーメーション(DX)後の近未来が想像できますか？」というテーマ。IT技術の進歩で近未来がどのように変化するかを想像し、そこに向けて今何をしなければならぬのかを考えるバックキャスト思考法についての講演を、多彩な事例をまじえて大変わかりやすく説明していただきました。

文責/青木重之(78年・経)



バックキャスト思考法について語る 小西一有さん

こう語る李さんは体育会硬式野球部のOB。外野手で2年からメンバー入りを果たしている。高校3年生の時に高校野球京都記念大会で(現)京都国際高校(当時は京都韓国学園)の野球部主将として韓国語と日本語で選手宣誓を行ない、外国人籍の選手であることも高校野球史上初めてと、話題になった。大学の野球部引退後は、海外

\* 金融サービスのプロフェッショナルとしてお客様のライフプランニングを通じて資産形成や保険の必要な保障をご提案しています。仕事だけでなく東京校友会の一員として「Young All Doshisha」を継続させる活動も行っています！

文責/安永昌代(81年・経)



連載  
企画

# 片桐家同志社五代記

その三

文／片桐 陽(67年・工)

中学時代の思い出は数々あるが、これ、といえは三年間続いた夏の日本海、由良でのキャンプだろう。ここで団体生活の基本を学んだが、何と言っても、同志社ならではの自由な雰囲気だった。三年生では班長として参加したが、毎年楽しみひとつだった。

文化祭が終わると、年末が近づき、クリスマスイベントに向けてホザナコーラスの練習に拍車がかかる。最大のイベントは高校のホザナコーラス、そして同志社女子中学・高校の聖歌隊と合同で開催するキャンドルライトサービスで、毎年栄光館で開催されていた。

キャンドルライトの灯りで礼拝を守るのだが、総勢二百人を



修学旅行にて(中央が筆者)

越えるクアアアが歌うのだからなかなかのもので、礼拝にいられた方々にも大変喜ばれたイベントであった。

さて、中学時代の最後で最大のイベントは、何と言っても5泊(一泊は車中)5日の修学旅行だった。三年生の10月26日、8時京都駅を出発、31日早朝の5時41分に京都駅に戻るといふ、今まで経験したことのない団体旅行である。

久永校長を始め、各クラスの担任、その他医師、看護婦などを合め11人の付添い教職員に引率された大集団の移動であった。

一日目は、京都駅からの車内で昼食、静岡で電車を降り、バスに乗り換え久能山、日本平を見て、静岡の旅館幸楽と日本橋という旅館に別れて宿泊。

二日目は、登呂の遺跡を見学、白糸の滝を觀て朝霧高原で昼食、本栖湖から風穴に入り、紅葉台から河口湖へ、その日は河口湖ホテル本館で宿泊。

三日目は、山中湖から長尾峠で昼食後芦ノ湖へ。元箱根から壮大な大湧谷を見学、上湯の旅

館冠峰楼で宿泊。

四日目は、片瀬海岸から長谷の観音様を觀て鶴岡八幡宮で昼食、横浜港を通り羽田空港を觀て東京は本郷の章文館で宿泊。

いよいよ最終日、東京都内見学があり、夜8時に東京駅に集合し23時発の集約臨時列車で京都へ、6日目の早朝京都駅着という長旅だった。

旅行代金は、5千円と大金であったが、二日目からずっとバスを使用し、四泊旅館やホテルに泊まる旅行としては、よくこの費用で収まったものと思える。

ただ、旅行のことは今ではほとんど覚えていないが、沢山の写真を撮っていたことから、記憶を辿っていくことが出来る。先生と、また仲間と一緒に撮った写真は、60年前のことを昨日のこのように思い出させてくれる。

それと、東京の旅館には叔父や知人が夜面会に来てくれたが、知人はアメリカのフルサイズの車、オールズモービルで訪ねて来られたので、注目的になった。また東京では一日自由行動が認められていたが、丁度開催されていた東京モーターショーに仲間と行ったことは楽しい思い出だ。

連載  
コラム

# 今出川四季



燎ホールディングス株式会社  
常勤顧問  
小川佳秀(75年・経)

## 下宿の真髓……その時何か私を変えた!

私の同志社での大学生活を語るうえで外せないのは、信じられない程の厳しい徒弟制度の下宿生活である。北野天満宮鳥居の真横に実質3畳の下宿屋。7名全員が同志社の学生で、私を含め1回生3名、2回生1名、3回生3名。先輩は勉強、遊び、生活態度に厳しかったとの記憶。そのおかげかもしれないが、この時に何でも自分で徹底して考え、決め、実行することを学ぶ。まさしく自主独立の精神というものであろうか。

我々を導いた先輩諸氏①先輩(京セラへ工学部)の指導便所掃除は毎朝7時から、全員で。②先輩(松下電器へ工学部)指導麻雀、徹底した役作りパターンの暗記から始める(イチサンニンロクゴンニ…点数、盲牌に至るまで)。③先輩(電通へ経済学部)の哲学も含めた読書会と酒を飲みながらの徹夜議論④先輩(IBMへ法学部)指導社交ダンス・ギター演奏など。

嘘のようなホントの話である。当時は、本当



1973年ゼミ旅行・輪島の朝市

に鬱陶しくて嫌だったのが「何故こうなるのか」原因と結果の説明の大事さ、ぶれない思考軸等を、徹底的に言われたのもこの時。ただ、これが私の人間としての幅が出来た事の要因の一つであるのは間違いない。

次はゼミ仲間との交流。私は岩根先生の金融論だが、ゼミ仲間は超真面目人間勉強集団で、私とは性格も含め全く違う面々。そこが逆に面白いところでもあり、このような仲間たちとの交流も私の人間の幅を広げられた要因の一つでもある。そういう経験もあつて就職は当時の三和銀行に。そこからまた地獄の日々が待ち受けているとは…人生苦難の連続であった。ただ今は良き思い出である。





# 「失われた20年」に急成長の企業

株式会社ユアスペース 代表取締役社長  
中尾昌弘さん 1977年(昭和52年)経済学部卒

1953年(昭和28年)大阪府生まれ 1977年(昭和52年)経済学部卒業、池田銀行入行 1992年(平成4年)千里中央支店次長拝命も、半年でコンテナ会社へ転職 1995年(平成7年)阪神・淡路大震災を機に東京営業本部を立ち上げる 1999年(平成11年)JV会社としてユアスペースを設立。2011年(平成23年)MBOにより事業継承し、現職。



「見えざる手」がここまで導いてくれた

## 校友 訪問

オイルショック後の就職難に負けず、バブル崩壊にも負けず、阪神・淡路大震災を地元で体験し、それを機に家族で東京へ転居。転職後の景気低迷の中で起業し、会社は早20周年。創意工夫でまだまだ成長を続ける会社の社長の登場です。

**テニスにバイトの学生時代**  
大阪府豊中市で生まれ、高校に入るまでは優等生。高校は進学校の豊中高校へ。バレーボールにかけた青春でしたが、大学進学を機に女性が半分の華やかな硬式テニス同好会へ。しかし、大学から始めた初心者はなかなか経験者達に追い付かず、自宅から大学ではなくテニスコートのあった西院へ直行。毎日練習した結果、3回生でようやく早

稲田との対抗戦に出られるまでになりました。アルバイトは梅田の阪急百貨店のお茶売り場で3年間。大学にはテニスとアルバイトと麻雀の合間に顔を出す程度。忙しすぎてゼミの思い出がないのが残念。夏休みには御嶽山山荘の住み込みバイトで、早朝から夜遅くまで働いて1日2500円、20日間働き、その報酬5万円を手にテニスの合宿へ行ったのも楽しい思い出です。

**就職と結婚**  
就職はオイルショックの後で採用が少なく、かろうじて銀行の役員面接へ、そこで大三元で役満上がった話をしたら型破りな奴だと、池田銀行に拾われました。最初の江坂支店の時、得意先の紹介で、両親と同郷出雲市出身の女性と運命的な出会いがあり結婚。ただ、銀行の支店営業のノルマは厳しく上司達から今というパワハラは当たり前前の時代、本当に辛い時も多々ありましたが、何とか乗り越え、キャンペーンではトップセールスに。そのご褒美で海外研修にも参加できるまでに。その後、本

店秘書室に引つ張られ、2年間頭取、役員の秘書や銀行本店内部を経験。この時に自分の能力の限界を悟り、後に銀行を去る「きっかけ」になりました。

**転職と転居は突然に**  
次の神戸支店では新規開拓専門で営業。あるコンテナ会社の融資1億円をまとめたのがコンテナ事業との接点となりました。千里中央支店の次長への昇格辞令がでしたが、金融不況の中で海外貿易を含め、国内市場にむけ成長するコンテナ業界への興味を押しえることができずに辞令後、半年で、当時年商数億円のコンテナ会社へ転職しました。誰もが反対する中、コンテナ業界の将来性にかけたのです。

転職後、東京の営業基盤作りに奔走している時に本社が阪神・淡路大震災に遭遇、東京営業本部を立ち上げつつ、平成7年8月に、生活拠点も含め家族全員で東京へ出てきました。

**新規事業を立ち上げ独立へ**  
東京では冷蔵冷凍コンテナの営業を担当、そうしたある日、

中古のコンテナをロードサイドに並べて倉庫代わりにしている風景に出合い、その時、都会ではコンテナ貸倉庫のニーズがあることに気が付いたので。そこで中古のコンテナを5つの部屋に間仕切りして、個人及び個人事業主向けに貸し出す専門会社を、コンテナ会社とのJVで起業。それが20年前に立ち上げたコンテナのトランクルームの「ユアスペース」です。

一時期はフランチャイズでも全国展開しましたが、JV解消後は直営店中心にシフトしました。最近ネットから新規顧客の申し込みがあり、お陰様で直営店を日本に180ヶ所、韓国に20ヶ所展開し、事業は今も拡大しています。

振り返れば、同志社に入学したのも、銀行に就職したのも、会社を手伝ってくれている妻と出会ったのも、地震後、家族で東京に出てきたのも、「見えざる手」がここまで自分を導いてくれたような気がします。

\*  
文責／作村満明(77年・法)  
写真／新田博伸(77年・法)

# ラグビー部 3シーズンぶりの 白星発進!



モールで前進するFW陣

## 高まる人気

令和元年。日本国内がラグビー色に染まる1年だ。9月末から開幕したラグビーワールドカップ。世界中から集まるラグーマンたちの活躍に、注目が高まる。

そもそもラグビーは、日本において親しまれるスポーツではなかった。強じんな体で互いにぶつかり合うところから「見ていて痛い」、「怪我をしやすい」など、マイナスイメージが染み付いていた。

そのイメージを一変させたのが、イングランドで開催されたラグビーワールドカップ2015だ。劣勢と思われていた日本が強豪・南アフリカに勝利。歴史的ジャイアントキリングに日本中が湧いた事は記憶に新しい。国を背負って戦った戦士たちの勇姿は、日本のラグビー熱に火をつけた。

## 復活の兆し

その熱は大学ラグビー界にも伝わった。「ミスター・ラグビー」と呼ばれた故・平尾誠二先輩を始め、多くのヒーローを輩出した同志社ラグビー部。今年で創



夏合宿の練習試合から(東海大学戦)

部109年と長い歴史があることはもちろん、大学選手権4度優勝の「関西の雄」として、これまで君臨してきた。

しかし一昨年、昨年とリーグ戦で結果を残せず。史上初となる2年連続で選手権出場を逃し、屈辱を味わった。

そこで再建を任されたのが主将の山本雄貴(商4)だ。同志社大学の創設者、新島襄先生の言葉である「GO! GO! GO! GO!」をスローガンに掲げ、選手権を目指し突き進む。

新体制として初の公式戦となった関西セブンズフェスティバルでは3年ぶりの優勝。春季トーナメント大会では昨季大学選手権準優勝の天理大、昨季関西Aリーグ2位の京産大に屈し

た。それでも3位決定戦では、立命大に快勝を収めた。

「勝利も敗北も味わい、どうやったら勝つマインドにもって行くことができるのかが見え始めた。規律の面でも、(部員たちが)徐々に変わっていることを成果として見る事ができ、チームの変化が見られたシーズンだった」(山本)。

復権への希望を感じさせ、春の戦いを終えた。

## は上がる

悲願の選手権へ向け、今年の同志社のキーとなるのがFW(フォワード)だ。1

年時からスタメン入りを果たす堀部(社4)や今季副将の服部(スポ4)らを筆頭に、大舞台を経験する選手が多数残る。春シーズンでも息の合ったセットプレーから何度もトライを奪い、勝利に貢献。強固なスクラムを持ち味とする天理大や京産大相手に、押し勝つ場面が見られた。FWの実力が、十分に通用することを証明した。



「GO! GO! GO!」自分たちのラグビーを!(東海大学戦)

迎えたAリーグ開幕戦。外国人留学生を擁し、セブンズでも苦しめられた摂南大との対戦となった。雨の中の試合となったが、今試合もFWが躍動を見せる。試合開始5分、相手の反則からモールを組むとそのままトライ。以降も自分たちの武器を最大限に発揮し、52-40で勝利を収めた。

「相手に負けないように自分たちのラグビーで勝っていきたい」(山本雄)。3シーズンぶりに白星発進を果たした紺グレが、今年こそ夢の舞台への切符をつかむ。

(川田翼・法学部3年)





■住所：東京都千代田区準町1-1  
 ■電話：03-3288-1641(宿泊) 03-3288-1628(宴会・会議)  
 ■レストラン営業時間：レストラン「パティオ」(160席)7:00~22:00  
 ラウンジ「ラメール」(59席 個室~15)12:00~23:00  
 和食処「門」(59席)11:30~14:00 17:00~22:00  
 天ぷら「羽衣」(10席 個室あり)11:30~14:00 17:00~21:30  
 ■定休日：ラメール・門 土日祝日/羽衣 日祝日  
 (土曜営業17:00~20:30/パティオ年中無休)



【好評連載】首都圏・校友の店 9  
**あこがれの  
 「帝国ホテル品質」を  
 リーズナブルに!!**  
 豊かな緑と美しい水面が広がる皇居のお濠に面し、隣は国立劇場という絶好の立地。知る人ぞ知る都心の穴場スポットです。



和食の宴席イメージ

警察共済組合が経営する半蔵門会館がホテルに改装され、「ホテルグランドアーク半蔵門」となって20周年を迎えた。  
 東京メトロ半蔵門駅や麹町駅からほど近い都心にありながら、皇居の深い緑に面した素晴らしい立地のホテルです。  
 運営は、大脇善夫社長（80年：文）率いる(株)帝国ホテルエンタープライズが担い、高い品質のサービスを提供しています。  
 4名~500名(立食) 収容可能な各種宴会場20室、スイートルームや家族連れに最適な和室も含めて客室204室を備え、中には、皇居や国会議事堂が一望できるお部屋もご用意。また、天井の高い華麗なチャペルも備え、結婚式場としても人気の施設です。

12月~1月は、宴会場での「忘新年会プラン」、フリードリック付き40名以下1人7200円、41名以上7700円(税込)がお薦めです。  
 各年次会、サークルの会合、ご家族・ご友人との会食や上京時の宿泊にも、ぜひご利用ください。  
 文責/青木重之(78年・経) 写真/新田博伸(77年・法)

レストランは、オールデイインニング「パティオ」、ラウンジ「ラメール」や寿司カウンター「すし巧」を併設した和食処「門」、天ぷら「羽衣」と、幅広いニーズにお応えできるお店を揃えています。  
 ご家族、ご友人との会食はもちろん、接待などにもご利用いただけます。特に、ホテルの界限には外資系も含めて企業のオフィスも多く、ランチタイムの穴場スポットとしてご利用される方も多いとのこと。



大脇善夫社長(左)と和食処「門」の女将、重松さやかさん

家族葬からお別れの会・社葬まで、  
 信頼の葬祭ブランド「公益社」におまかせください。



まずはお電話を。公益社 葬儀相談センター(24時間・365日受付)

さよならのこころ  
**0120-347-556**

https://www.koekisha.co.jp 通話料無料・携帯電話可

◆東京本社(港区南青山1-1-1 新青山ビル西館14F)  
 ●公益社 用賀会館 ●公益社 高輪会館  
 ●公益社 雪谷会館 ●公益社 喜多見会館  
 ●公益社 田園調布会館 ●公益社 高円寺会館  
 ●公益社 明大前会館 ●公益社 上板橋会館  
 ●公益社 吉祥寺会館 ●公益社 仙川会館  
 ●公益社 東久留米会館 ●公益社 日吉会館  
 ●公益社 日吉会館 ●公益社 鶴見営業所  
 ■ 青山ご葬儀相談室 ■ 鶴見営業所  
 ※上記を中心に300ヶ所以上の葬儀場がご利用になれます。  
 対応地域 首都圏(東京・神奈川・千葉・埼玉) 近畿圏(大阪・兵庫・奈良)

燦ホールディングス(株) 社友 播島 幹長 (昭和33年 経済学部卒業) 燦ホールディングス(株) 顧問 小川 佳秀 (昭和50年 経済学部卒業)  
 (株)公益社

**東京校友会 奨学金(給付型)  
3年目を迎えました!**

■奨学生選考委員会

東京校友会では、関東甲信圏から同志社大学を目指す高校生が増えることを願い、2017年から対象圏(東京、神奈川、千葉、埼玉、群馬、栃木、茨城、山梨、長野)出身在學生に給付型奨学金制度を運用しています。

お会いする校友にこの制度をお話ししますと、「そんなこともやっているんですか。給付型奨学金はいいですね。しかし継続するのが大変なのでは?」と多くの方から驚きと心配のコメントをいただきます。

毎年、テレビ会議等による面接を実施していますが、面接を通してどのような学生が奨学金を必要とし、何に使ってくれているのか、がよくわかります。学生に直接聞ける素晴らしい

機会だと感じています。皆に共通しているのが、家庭の事情が厳しい中で、入学金や授業料を出し京都市に送りだしてもらっているということ。そのため、授業以外のほとんどの時間をアルバイトに費やし勉学の時間が取れない、学部や校地によってはアルバイトの時間がなく、欲しい本も買えない、行きたいところにも行けない、そんな窮屈な生活を余儀なくされているのだなと感じます。自由に学び学生時代にしかできないことをするにはそれなりの資金が必要です。同志社大学生らしい日々が送れるようささやかではあります。支援を続けていきたいと思えます。

文責/安永昌代(81年・経)

**すみれ亭 昭和38年会俳句会  
輪のなかに百寿の笑ひ秋高し**

塗田 業平

喜寿、傘寿、百寿とおめでたい祝宴の続く日本人の、美しいときたり。お父上はいま、その栄光の輪の中心に相好を崩しておられる。折しも秋たけなわ、抜けるような青空が天から祝福を加える瞬間を一句にした。

(選評・あかき俵鳥)

**イベント開催のご案内**

**第3回幹事会・第2回評議員会**

日時：11月28日(木)

18:00~20:00

会場：同志社大学東京サテライト・キャンパス セミナールーム

**特別協力会員の集い**

日時：11月19日(火)

18:00~21:00

会場：学生会館210号室  
学長講演：松岡敬学長  
ミニコンサート

**編集後記**

東京校友会ではホームページのサービス改善のため、8月にサーバーの移転とコンテンツ管理システムの変更を行いました。その目的は次の通りです。

1. ホームページの高速化
2. スマートフォンへの対応
3. 更新作業の迅速化
4. 運営費用の削減

従来のホームページは「旧ホームページ」として旧システムのまま残し、ほぼ同じ構成・デザインの「新ホームページ」を新システムで作成しました。移転・変更作業は完了しました。

伊藤誠さん(76年・商)

会費：10,000円

同志社創立144周年記念リユニオン・同志社大学ホームカミングデー2019

日時：11月10日(日) 10:00~

16:30

会場：同志社大学 今出川キャンパス

・卒業生交流レセプション  
・一日県人会など

(詳細は、ホームページ参照)

文責/岩崎英夫(83年・法)

だが、調整が完了し更新作業に慣れるまでは、いろいろと迷惑をお掛けすることもありますが、皆様のご理解とご協力をお願い致します。

文責/新田博伸(77年・法)

**DOSHISHA TOKYO JOURNAL**  
2019.October. NO.117 同志社東京校友会  
〒104-0061 東京都中央区銀座1-15-7 MAC銀座ビル3F  
電話：03-5579-9728  
FAX：03-5579-9729  
発行人/児玉正之  
編集人/新田博伸  
印刷/株式会社スバルグラフィック  
http://www.doshisha-tokyo-alumni.jp  
mail:office@doshisha-tokyo-alumni.jp

HP 会員ページ  
ログイン情報

ID=doshisha  
PASS=1875



人は寝ているあいだも、  
空気を吸っている。

だから私たちは、人の心と体に  
心地よい空気とは何かを考え続けています。  
人と空気のあいだに、いつもダイキン。

ダイキン工業株式会社